

飲酒運転撲滅宣言企業

株式会社CDS 筑紫野自動車学校



○ 株式会社CDS 筑紫野自動車学校 様の紹介

『交通事故のない安全安心な地域社会の実現を目指して』

昭和37年福岡県朝倉市で開校し、令和2年5月から筑紫野市に移転、名称を「筑紫野自動車学校」に変更し、現在に至ります。指導員は、教習を受ける皆様の気持ちになって「楽しく・優しく・親切に」をモットーに教習を行っています。

また、地域における「交通安全教育センター」としての役割を自覚し、学校や企業の交通安全教育活動や児童の保護誘導活動なども行っています。



筑紫野自動車学校

○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

① <<飲酒運転撲滅計画の策定>>

福岡県公安委員会指定の自動車学校として安全マインドの高い運転者を育成し、安全・安心な交通社会を実現するために、職員が先頭に立って地域から飲酒運転を根絶するための各種対策を積極的に進めていく必要があることから推進計画を策定し、次のような活動を行っています。

② <<社員教育>>

ア 誓約書

全社員から自己の飲酒運転はもちろん、「飲酒している人への車両提供禁止」「運転が予想される人へのアルコール提供禁止」「飲酒運転の車への同乗を絶対しない」旨の誓約書の提出を義務づけています。

イ 研修会の開催

係ごとや全職員による不適切事案防止研修会等を開催し、飲酒運転防止の徹底を図っています。

ウ 社内広報紙の発行

飲酒運転撲滅に関する社内広報紙を作成し、社員回覧を行っています。

エ 個人面接

社員全員に対する個人面接を行い、日頃の酒量、酒癖やγGTP数値などについて聴取し、適切な指導を行っています。

オ 出退勤時のアルコールチェックと指示

社員出退勤時に幹部立会でアルコールチェックを行うとともに、朝礼等で幹部による飲酒運転撲滅に関する教養を行っています。

③ <<地域における飲酒運転撲滅啓発活動>>

ア 校内掲示版等への啓発ポスター等掲示

自動車学校を利用する教習生や高齢者の方の目に止まるように、待合室に設置している掲示版やテレビモニターに独自で作成した飲酒運転撲滅に関するポスター等を掲示しています。

イ 社用車の活用

教習車両や送迎バスに飲酒運転撲滅に関するマグネットシートを貼付し、啓発活動を行っています。

独自作成のポスターで啓発!



ウ ハンドプレート活用による広報活動

当校で作成した飲酒運転撲滅と記載されたハンドプレートを交通量が多い当校前の県道において社員が掲示し、通行車両に対する啓発活動を行っています。

「飲酒運転根絶」のハンドプレートで、通行車両に啓発!



エ 駅利用者に対する啓発活動

西鉄やJR駅において飲酒運転撲滅と記載されたチラシ等の配布を行い、啓発活動を行っています。

オ 安全運転管理者等講習会における講話

筑紫野市や朝倉市で開催されている安全運転管理者等講習会に社員が講師として出席し、交通事故防止や飲酒運転撲滅に関する講話を行いました。



街で広く撲滅を啓発しています！

講習会で呼び掛け！

実験の様子は、テレビでも報道されました！



カ 飲酒運転体験型講習会の開催

地域における交通安全教育センターとしての役割を果たすべく、当校の教室やコースを開放し、飲酒運転体験型講習会を開催。

講習会は報道関係者も参加し、当校において飲酒し、その後、教習車両を運転することにより飲酒運転の危険性を実感してもらっています。

また、ウイスキーボンボンや奈良漬を食べたことによるアルコールの影響についても実験を行い、同講習結果等については、新聞、テレビ等で大きく報道され、広く飲酒運転の危険性をアピールすることができました。



株式会社CDS 筑紫野自動車学校 様にインタビューに答えていただきました！！

Q 1 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 当校は公安委員会指定の自動車学校であり、地域における交通安全教育センターとしての役割を担っており、社員一丸となって飲酒運転の撲滅等に日頃から取り組んでいるところです。

そのような中、本県では飲酒運転により、平成18年に「海の中道事故」、平成23年に「粕屋町における高校生2人が死亡する事故」が発生しております。

このような悲惨な交通事故を一件でも減少させるべく、日頃から飲酒運転を始めとする交通事故に直結する悪質な交通違反については、その抑止に努めていかなければならないと考えており、公安委員会指定の自動車学校である当校としては当然の責務であり、重要な役割と考えております。

Q 2 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A 飲酒運転の撲滅に関しては、従来から力を入れて取り組んでいる内容でありますので、全社員が当然の責務であり、使命であると認識しております。

Q 3 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 福岡県は飲酒運転の撲滅に関しては、全国の先進県でなければならぬと考えておりますので、毎月25日の「飲酒運転撲滅の日」だけではなく、日頃から社員教育の中に取り込み、地域において飲酒運転を根絶するために各種施策を行ってまいりたいと考えております。

県民の皆様、どうか福岡県から飲酒運転を根絶し、悲惨な交通事故をなくして行きましょう。